

租税回還地  
35首脳ら取引

**ブレア元英首相やアブドラ国王**

フレア元英首相やヨルダンのアブドラ国王ら世界の現日首脳35人が、タックスヘイブン（租税回避地）に設立した法人を使った不動産取引などに関わっていたことが、国際調査報道ジャーナリスト連合（I C I J）の入手資料から判明した。タックスヘイブンをめぐっては国際的な規制強化が求められているが、指導者らの「世に知られたくない」財産や取引の隠れみのになつている実態が改めて浮かぶ。

ICLJが、各地のタツ  
クスヘイブンに会社や信託  
を設立・管理する法律事務  
所や信託会社など14社の1  
190万件以上の内部審類

を入手し、「パンドラ文書」と名付けた。91カ国・地域の330人以上の政治家や政府高官にタックス・イブンとのつながりが確認された。この取材プロジェクトには日本から朝日新聞共同通信が参加した。文書によると、ブレア元英首相夫妻は2017年、

が会社の株式を取得した」とも、「ビルを直接購入した場合にかかる税金40万円以上を払わなくて済んだ」としている。

03～17年に英國と米国で14の不動産を購入していた。高級住宅街やビーチ沿いの豪邸で、資産価値は計1億6000万ドル（約118億円）を超える。

これらの不動産取引の大半は11年以降のものだつた。この年から本格化した中東の民主化運動「アラブの春」では、チュニジアやエジプトで政権が崩壊し、

低税率や無税のタックスヘイブンに会社を設立する行為は違法ではないが、会社設立や銀行口座の開設には専門家の助けがいる。高額の手数料が必要で、利用できるのは巨大企業や富裕層に限られる。実際に収益を得た国で支払うべき税を納めずに公共サービスの恩恵だけを受ければ、税の負担に不公平が生じる。

英國の田舎領だった中東バーレーンの閥僚の家族から、タックスハイインの英領バージン諸島の会社を買収した。この会社は約888

「おも現在の英國のやくじゆ  
法律を遵守しならぬ」と井  
巣十を睨つて回答した。  
また、文體どものと、井  
巣十が定めた王政で安らぐ中東

去も現在も英國のすべての法律を順守してゐる」と弁護士を通じて回答した。また、文書によると、安定した王政で知られる中東・ペルシャのアラビア国王は1995年～2017年に、少なくとも36のフロンティア企業をタックスハイブに納税義務はだらぬと公言していた。ペルシャでも政治犯をあらわすものが起きた。アラビア王室は當時、貴族や政治家の汚職には厳正に対処する

# 「税金安くそれ以外ない」

**ICU**

提携記事

「パンダラ文書」に登場する日本の個人や法人は千を

越える。タックスヘイ

ブン(租税回避地)との関わ

りはどうなものなのか。

▼1面参照

「パンダラ文書」に名前があつた日本人の中には租税回避目的を認める人もいた。東京都内で「T・M連会社」の日本法人を経営する男性は、親会社を英領バージン諸島に設けていた。取材に応じた者は、「税金を安くする目的はなかったのかどう問い合わせに、「それ以外にな

い」と答えた。

妻は親会社の株主で、経理も担当。かつては親会社にコンピューターシステム利用料を支払っていた。それによって日本法人の課税所得は減り、納税も減る。「それ以外の理由でタックスヘイブンに親会社をつくる会社はありますか?」

親会社は2016年にシングガボールに移した。バージン諸島に親会社があることが「世の中の流れ」に差し支えが出てきたのだと

いう。

インド洋のタックスヘイブン・セーシェル島に会社を設立し、カンボジアで不動産ビジネスを手がける別の男性は、記者の電話取材に「いや」と語る。「税金ゼロは大きいですね」

セーシェル島は、国外であるカンボジアで発生した所得への課税はゼロだ。さらに、各國は「CRS」という制度に基づき、互いに口座情報を交換しているが、男性の住むカンボジアは参加していない。

男性は「カンボジアはどう

い」と説明。「タックスヘイブンとカンボジアの組み合せが最強なんですね」

の国とも情報交換をしておらず、日本に情報が渡らなければ、会せが最強なんですね」

い」と説明。

「タックスヘイブンの動きの話をしられるのが多くが税制面だけでなく、航空機の登録や取引の環境が比較的整っている」とされ、今回の文書では

業界に詳しい関係者によると、タックスヘイブンとされる国の多くが税制面だけでなく、航空機の登録や取引の環境が比較的整って

した。

購入した理由については「資金調達やその他の手続

きがケイマンのほうがやりやすい」と判断した」と説明

した。

業界に詳しい関係者によると、タックスヘイブンの動きの話をしられるのが多くが税制面だとおり、どんなものか知りたかった。お金を動かしたことは「一回もない」と語った。

した。

しばしば(タックスヘイブンの)資金の動きの話をし、取材に「石油やサッカーリー交渉する海外の相手が

ス課長を最後に退官してお

り、取材に「石油やサッカーリー

ーで交渉する海外の相手が

いた。平田氏は20年、資源

エネルギー庁石油・天然ガ

ス課長を最後に退官してお

り、取材に「石油やサッカーリー

ーで交渉する海外の相手が

いた。平田氏は20年、資源